

神奈川県原水協通信

日本原水協全国事務局長会議開かれる(11/24～25)

日本原水協全国事務局長会議が開催されました。

会議に全国や中央団体から62人が参加し、来年2019年、被爆75年の2020年を展望した情勢と課題、原水協の強化方向について深める会議となりました。2日間で63人が発言しました。

1日目は、安井正和事務局長の報告があり、核兵器をめぐる情勢と課題、2020年を核兵器完全廃絶への決定的転換点とするため運動方向について討論が行われました。討論では、2019年の運動が決定的であること、2020年NPT再検討会議にむけてどのような活動を進めるか、

日本政府を禁止条約に参加する政府に変える課題、そして、これらの土台(基軸)となる「ヒバクシャ国際署名」の飛躍をどう実現させるかなど、各県の実践をもとに討論されました。情勢では、国連第1委員会では、核保有国など、禁止条約攻撃や批准阻止の激しい圧力をはねのけゆるぎない流れが示されるとともに、「せめぎあい」が一層激しくなっていると指摘。日本政治・政府を変える重要さも強調されました。

2日目は、2019年から2020年の重要な情勢に応える「原水協の強化をどう進めるか」集中討論が行われ、新たな方針を実践している「被爆者援護連帯活動」の取り組み交流。そして、この会議に向け組織部が実施した「組織アンケート調査」をふまえつつ、活動の活性化、世代継承、財政問題などについて、全国の経験を交流討論しました。平和行進については、第1日目の夜、国民平和大行進実行委員会の2019年度に向け総括討論が行われました。この会議には、神奈川から笠木事務局長・鈴木事務局次長が参加しました。



さあ！師走を迎えます

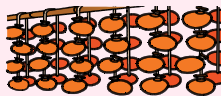
3つの課題 成果をあげて新年を迎えましょう！

- ①ヒバクシャ国際署名
- ②被爆者援護連帯募金
- ③ちひろカレンダー普及と募金

今年もあと1ヶ月で終わろうとしています。

この1年間神奈川県原水協として加盟組織が心を寄せて取り組んできた課題として左記の3つがあります。多くの団体・地域原水協の奮闘で成果が上がっています。しかし、残念ながら取り組みが結果として表れていない組織があります。1年の締めくくりにあたって、結果がゼロの組織をなくして新年を迎えたいと思います。1年の締めくくりにあたって、署名の報告、被爆者募金の集約、ちひろカレンダーの普及とカレンダー募金の未報告・ゼロ解消をみなさんに心から訴えます。数や額ではなくみんなが心寄せて取り組んだ結果を残し、元気に2019年を迎えたいと思います。「3つの課題」で成果をあげて新年を迎えるためにお力添えを。

がんばっています



鎌倉市原水協

10月の軍縮週間の署名行動で、ギターを演奏しながら署名を呼びかけたら、かつてない反応と注目が集まり1時間のこれまでの最高108筆を超え、116筆の署名が集まりました。12月には、事前に「ポストイン」をして、各戸訪問の署名行動を計画しています。

横須賀市原水協

横須賀市原爆被災者の会と共同で、まだ「ヒバクシャ国際署名」をしていない「上地市長」と全市議会議員にヒバクシャ国際署名を要請する活動を始めています。

藤沢市原水協

平和行進を一緒にやっているピースリレー実行委員会(被災者の会・生協・原水協など)は、来年2月13日に共同の取り組みとして「学習講演会」を計画し、藤沢市の後援をもらって準備をすすめています。

12月議会に核兵器禁止条約の調印と批准を求める国への「意見書」採択の請願の準備をすすめています。

中原区原水協

署名を広げたいということで、原水協の会員以外の人で協力してくれそうな“知人”にヒバクシャ国際署名をお願いして、この間回収し371筆の署名が集まりました。1月末にまた、原爆展の実施を準備中。